

全国放課後連主催（キリン福祉財団助成）

# 第35回研修会 in 福岡

放課後活動にふさわしい実践・制度、職員が育ち合う運営を切り拓こう！

「障害のある子どもの放課後保障全国連絡会（全国放課後連）」では、「キリン福祉財団」から助成を受けて、研修会を開催してきています。

放課後等デイサービスは、2012年4月に制度化されました。それによって、事業所および利用する子どもは急激に増加しています。現在、事業所数は全国で約9000カ所、利用児童数は14万人（厚労省HPより）にも達しました。

子どもたちは、さまざまな形態の事業所を利用できるので、選択の幅が広がった、と言われていています。しかし、「ビデオを見せているだけ」「事故やケガが多発している」と言われる事業所もあると聞きます。報酬の不正請求による指定取り消しの処分や、突然の倒産によって、行き場をなくす子どもたちも出てきました。

今回の研修会ではあらためて、「放課後活動等デイサービスの意義と課題」「職員同士がどう育ち合うのか」「実践報告から子どもをどう理解し、働きかけるのか」などについて学び合いたいと思います。

「開催地の要望にもとづく内容のもの」という趣旨で、全体講座を設けました。ふるって、ご参加ください。

日時：2017年12月10日（日）

10時開場（受付開始）10：30～16：30

会場：北九州市立西部障害者福祉会館 501～503 会議室

黒崎駅より徒歩3分【☎093-645-1300】

北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3 コムシティー5階

受講料：会員2000円（\*非会員3000円）定員100名

★会員の方は、会員証もしくは会員番号を受付時にご提示ください

\*申し込みは、別紙専用申し込み書に必要事項をご記入の上、11月20日までに、FAXでお送り下さい

## お問い合わせ

①あしたのつばさ折尾 担当者：針池栄治

☎・📠093-555-7635 福岡県北九州市八幡西区光貞台1丁目9-13

②障害のある子どもの放課後保障全国連絡会（全国放課後連）【事務局】

一般社団法人江東ウイズまっぼっくり子ども教室内

事務局長：田中祐子 ☎03-3635-6301✉：houkagoren@kodomo.me

後援／北九州市（申請中）

# プログラム

- 10:00 受付開始  
10:30 会長あいさつ  
          キリン福祉財団さまより  
10:45 **講演「放課後等デイサービスの意義と課題」**

**講師：黒田学氏（立命館大学産業社会学部教授）**

研究テーマ：障害のある子どもと家族への地域生活支援に関する研究

論文・編著：『アジア・日本のインクルーシブ教育と福祉の課題』（クリエイツかもがわ）

『障害のある子ども・家族とコミュニティケア』（同）

12:30～13:30 休憩

- 13:30 **第1分科会：管理者講座「職員集団・活動をつくる上で大切にしたいこと」**  
**★まつぼっくり教室の事例から**

助言者：黒田 学氏（立命館大学産業社会学部教授）

講 師：田中祐子氏（全国放課後連事務局長：まつぼっくり子ども教室所長）

**第2分科会：指導員実践講座「子どもをどう理解し、働きかけるか」**

（放課後活動にふさわしい実践について考え合ひましょう）

報告者：花木正斉氏（鹿児島市ゆめのもり）

報告者：益本裕美氏（埼玉放課後等デイサービスモンキーポッド）

15:30 休憩

15:45 **2分会報告と交流**

16:30 終了



全国放課後連は、放課後等デイサービスの制度が始まる直前の2011年12月に『障害のある子どもの放課後活動ハンドブック』（かもがわ出版）を出版しました。放課後活動を実施している事業所の実践報告や研究者の論考を集めて、放課後活動のもつ多面的で豊かな役割や課題を明らかにし、これから放課後活動に取り組もうとしている全国の皆様にご提示させて頂きました。

そして、2017年6月に、これまでの経過、現状認識などをふまえて、放課後等デイサービスの事業が目指すものを改めて確認したいと思い、第2段である『放課後等デイサービスハンドブック』を出版致しました。

放課後活動の役割、子ども理解の視点、具体的な実践例、事業所運営（理念、個別支援計画、家族支援、学校との連携、地域でのつながり等）にわたって言及しています。

**今回の研修は、二冊の筆者によって構成しています。**

**研修と共にお手に取って頂き、一緒に学び合えたらと思います。**